

Timex® 腕時計をお買い上げいただき ありがとうございます。

腕時計をスタートさせるには

(永久カレンダーのモデルには適用しません)。腕時計をスタートさせるには、リューズの下からプラスチックのガードをはずした後、リューズをケースに向かって押し込みます。

時計によってはリューズをネジで止める必要があるものもあります。腕時計のケースにネジ山のある突起が付いている場合は、腕時計を設定した後でリューズをネジ込む必要があります。

リューズをネジ込むには、リューズをネジ山の付いた突起に強く押しつけ、右に回して押し込みます。リューズがしっかり締まるまでネジ込みます。次回、腕時計を設定する際には、リューズを引き出す前に、リューズを反時計回りに回してネジをゆるめる必要があります。

耐水性と耐衝撃性

腕時計に耐水性がある場合は、メートルのマーク (WR_M) が表記されています。

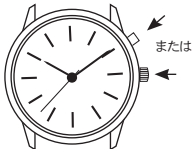
耐水性深度	p.s.i.a.* 水面下水圧
30m/98ft	60
50m/164ft	86
100m/328ft	160
200m/656ft	284

警告：耐水性を維持するため、お買い上げの腕時計に 200 メートルの耐水性があると表記されている場合以外は、水中でボタンを押したりしないでください。水中では絶対にリューズを引き出したりしないでください。

1. 腕時計の耐水性はクリスタル、リューズ、ケースが無傷の場合に限り保たれます。
2. 腕時計は保証されたダイバーウォッチではありません。
3. 腕時計が塩水にさらされた場合は真水ですすいでください。
4. 耐衝撃性は腕時計の文字盤または裏面に表示されています。腕時計は ISO の耐衝撃性試験に合格するように設計されていますが、クリスタルを傷つけないように注意して下さい。

INDIGLO® ナイトライト

ボタンまたはリューズを押してライトを作動させます。INDIGLO® ナイトライトに使用されているエレクトロルミネッセント技術により、夜間や暗い場所で腕時計の文字盤全体が明るくなります。



日付と時間の設定

注意: 腕時計のリューズには内側、中間、外側の 3 つの位置があります。各位置の違いに慣れるため、リューズを外側の位置まで引き出した後、軽く押してカチッと中間の位置にはまる感触を覚えてください。

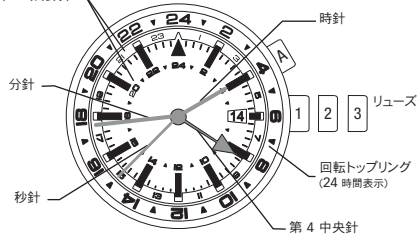
日付と時間を設定するには:

時間

リューズを外側の位置まで引き出し、正しい時刻が示されるまで回します。日付が正午ではなく、真夜中に変わることを確認して、正確に AM/PM を設定してください。

3GMT

内側リング/数字
(24 時間表示)



3 タイムゾーン機能

この腕時計には 3 ヶ所のタイムゾーンを表示する機能が搭載されております:

1. 時刻と分の針: 標準 12 時間表示で時間を示します。
注意: 日付ウィンドウに表示される日付は、これら 2 本の針で表示される時刻と連動しています。
2. 第 4 中央針と内側リング: 標準 24 時間表示で時間を示します。
3. 第 4 中央針とケース回転トップリング: 24 時間表示で時間を示します。

第 4 中央針の調整

ずれた第 4 中央針を再調整するには:

1. リユースを位置 3 までに引き出します。
2. 第 4 中央針は 12 時を指すはずです。5 秒以内にリユースを外側の位置まで引き出しても 第 4 中央針が 3 秒以内に

12 時を指さない場合は、ボタン A を押し、針が 12 時を指すまで時計回りに回します。ボタン A を押したまましていると針の回転が速くなります。

3. 終了したらリューズを位置 1 まで押し込みます。

第 4 中央針の調整

第 4 中央針は協定世界時 で定義された時刻内で標準分を反映するよう、Timex 工場で調整されています。世界中でほとんどの地域がこの標準分を使用しています。第 2、3 のタイムゾーンを使用する場所が標準分を使用している場合は、第 4 中央針は調整し直す必要はありません。第 2、3 タイムゾーンが標準分に従わない場所を反映させたい場合のみに、次のように第 4 中央針を調整します：

1. リューズを位置 3 までに引き出します。指示針(第 4 中央針)は 12 時を指します。
2. リューズを回して、第 2、3 タイムゾーンを使用したい場所に必要時刻内で分針を正しい位置にします。

3. リューズを位置 2 に引き出します。第 4 中央針が、その時刻内で分の現在調整された位置を指します。
4. ボタン A を押して第 4 中央針を時計回りに移動させ、分針と一致させます。ボタン A を押したまましていると針の回転が速くなります。
5. リューズを位置 3 までに引き出します。第 4 中央針は 12 時を指します。
6. リューズを回して、時間針と分針が正しい時刻に位置させます。
7. 終了したらリューズを位置 1 まで押し込みます。

注意：第 4 中央針は、その時刻内で分の現在調整された時間を追跡します。第 2、3 タイムゾーンは両方とも第 4 中央針を利用しますので、第 2、3 タイムゾーンで追跡されている 2 ヶ所は共に、その時刻内で同じ分を利用して正確な時間を刻表します。

第 4 中央針の調整 (タイムゾーン II)

第 2 タイムゾーンとして追跡したい場所での現在の時刻をメモします。第 4 中央針が内側リングの該當時刻を指すまでボタン A を押します。(注意: 目盛りは 24 時間表示です。) ボタン A を押すたびに第 4 中央針は 30 分進みます。ボタン A を押したまましていると針の回転が速くなります。これで時計の第 2 タイムゾーンが設定されます。

ケース回転トップリングの設定 (タイムゾーン III)

第 4 中央針の既存設定そしてケース回転トップリングの調整によって第 3 タイムゾーンが設定されます。(注意: 目盛りは 24 時間表示です。) トップリングには 72 刻みの位置があります。トップリングを 1 時間進めるには位置を 3 刻み (3 “クリック”) 進めます。第 3 タイムゾーンとして追跡したい場所での現在の時刻をメモします。ケーストップリングを半時計回りに回し、第 4 中央針に対して正しい時刻印になるように位置させます。